

藤設備・代表取締役社長

藤戸 祐太さん

父の会社と家族を守る

宮

崎市の給排水設備工事会社、藤設備の社長・藤戸祐太さん(24)。一時経営危機に陥った会社を立て直す途上で、家族と力を合わせ、新築住宅などの上下水道管の敷設などを手掛ける。

依頼を受けると現場の状況を的確に把握し、母ゆみさん

(50)らとともに工事見積書

を作成。工事に入るとパイプを手際よくつなぎ合わせ、上下水道と配水管をつなげる。穴掘りにはパワーショベルを使うが、細い路地では手掘りする。体力自慢の弟佑貴さん(19)と一緒に要領よく仕上げ

に加わった。しかし2009年、頼りにしていた先代の父浩二郎さんが交通事故で49歳の若さで他界。「父が苦勞し立ち上げ、母が献身的に支えて軌道に乗せた会社。つぶしたくない」。経験も浅く、技術も未熟だったが、家族愛を胸に苦況に立ち向かった。

最も苦勞したのは、浩二郎

さんがほぼ一人で担っていた書類作成。さらに見積もりは、使用する材料の素材・価格などあらゆることに精通していなければならぬ。

またやむなく多くの従業員を解雇したため、人手不足にもなった。昼は現場で汗を流し、夜は膨大な書類を書き上げ「最初の1年はがむしゃらだった」。一睡もせず現場に直行する日もあった。

売

り上げは父のころの半分にまで回復した。当時の業績に追いつくにはまだ時間がかかりそうだが、約20

年前の創業時からの顧客の「頑張って」「期待してるから」との言葉を励みにする。信頼されていた父の偉大さをかみしめ、残してくれた人間関係を一家の大黒柱としての責任感に満ちていた。



自宅事務所で家族一丸となって仕事に打ち込む藤戸さんと、母ゆみさん、弟佑貴さん(左から)

19 20
26 27

PROFILE

ふじつ ゆうた

時間があれば大淀川に大物狙いで釣りに出掛ける。格闘技好きで、憧れの選手は山本KID徳郁。

「客からの信頼が厚かった父のように、丁寧で的確な仕事を心掛けたい」と話す藤戸さん